

予約型乗合タクシーの利用状況

令和元年10月1日からの予約型乗合タクシーの利用状況は次のとおりである
(令和4年3月末時点)。

分析の 視点	指標・データ・ルート		ミニバス時の 利用状況		予約型乗合タク シーでの利用状況		
			(H30年度)	(H31.4~ R1.9)	(H31.4~ R1.9)	(R2年度)	(R3年度)
公共性 の視点 (需要など)	1日あたりの 利用者数	E	1.99人/日	2.51人/日	0.27人/日	0.43人/日	0.93人/日
		F	3.33人/日	3.67人/日	1.95人/日	1.51人/日	1.05人/日
	1便あたりの 利用者数(※1)	E	0.67人/便	0.50人/便	0.09人/便	0.14人/便	0.31人/便
		F	1.31人/便	0.83人/便	0.65人/便	0.50人/便	0.35人/便
経済性 の視点 (効率性も)	収支率(※2)	E	1.4%	—	3.2%	3.2%	3.4%
		F	2.9%	—	3.1%	2.4%	2.2%
	利用者1人あたりの 行政負担額(※2)	E	7,024円/人	—	3,115円/人	3,142円/人	2,906円/人
		F	3,413円/人	—	3,211円/人	4,169円/人	4,619円/人
	実際の運行回数 (運行率)	E	—	—	7.8回/月 (0.09)	12.1回/月 (13.5)	21.7回/月 (24.3)
		F	—	—	39.8回/月 (0.46)	34.8回/月 (38.9)	26.9回/月 (30.2)
運行1回あたりの 利用者数(乗合率)	E	—	—	1.00人/回	1.06人/回	1.27人/回	
	F	—	—	1.43人/回	1.29人/回	1.16人/回	

表1 予約型乗合タクシーの利用状況

※1：予約型乗合タクシーの1便あたりの利用者数は、1日3便とも運行したと仮定した場合の値。実際は予約の無かった便は運行していないため、1.0人/便以上となる。

※2：ルート別の支出額は、コミュニティバス全体の支出額（または予約型乗合タクシー）に対して、運行距離（または運行時間）で按分した数値を使用している。

また、ルート別の収入額は、利用者数に100円を乗じた数値を使用している。H30年度データの出典は、平成30年12月第19回協議会の資料3を元に編集。

1. 年度別の推移

年度別の1日あたり利用者数は、Eルートは2.0人以上の利用があったが、現在は1.0人を下回っているものの、利用者は増加傾向にある。Fルートは、予約型乗合タクシーへの運行方式変更以前より利用者の減少が続いている。

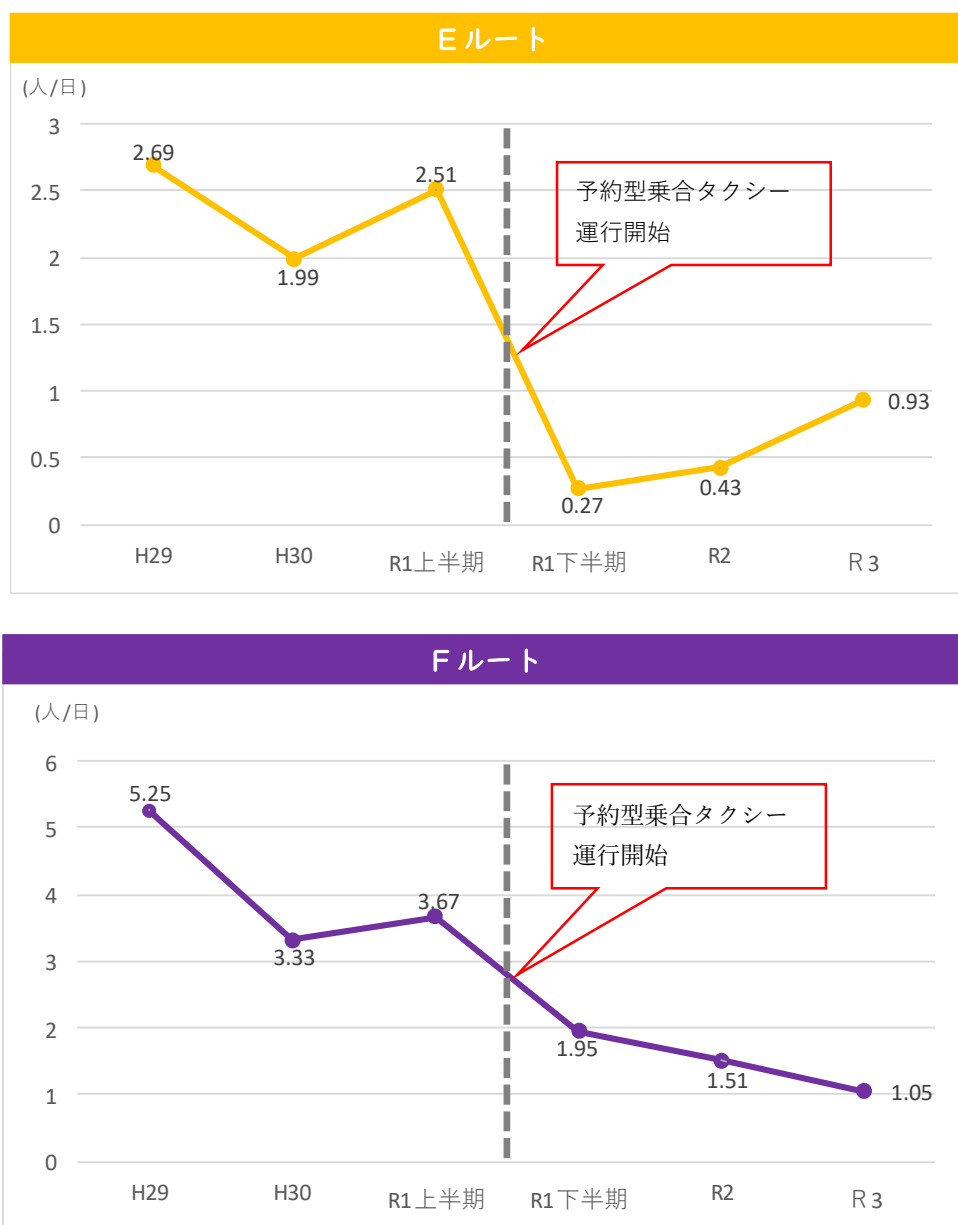


図1 年度別の利用者数の推移

2. 月別の推移

予約型乗合タクシーの月別の利用者数について、Eルートは、近隣府県に発令されていた緊急事態宣言が解除されるなど、新型コロナウイルス感染症の対策が緩和され始めた9月以降に増加している。

Fルートは、運行開始直後の令和元年度（10月～3月）では平均57人/月であったが、令和3年度は平均31人/月となっており、減少傾向にある。また、冬季（1月～3月）の減少が大きくなっている。

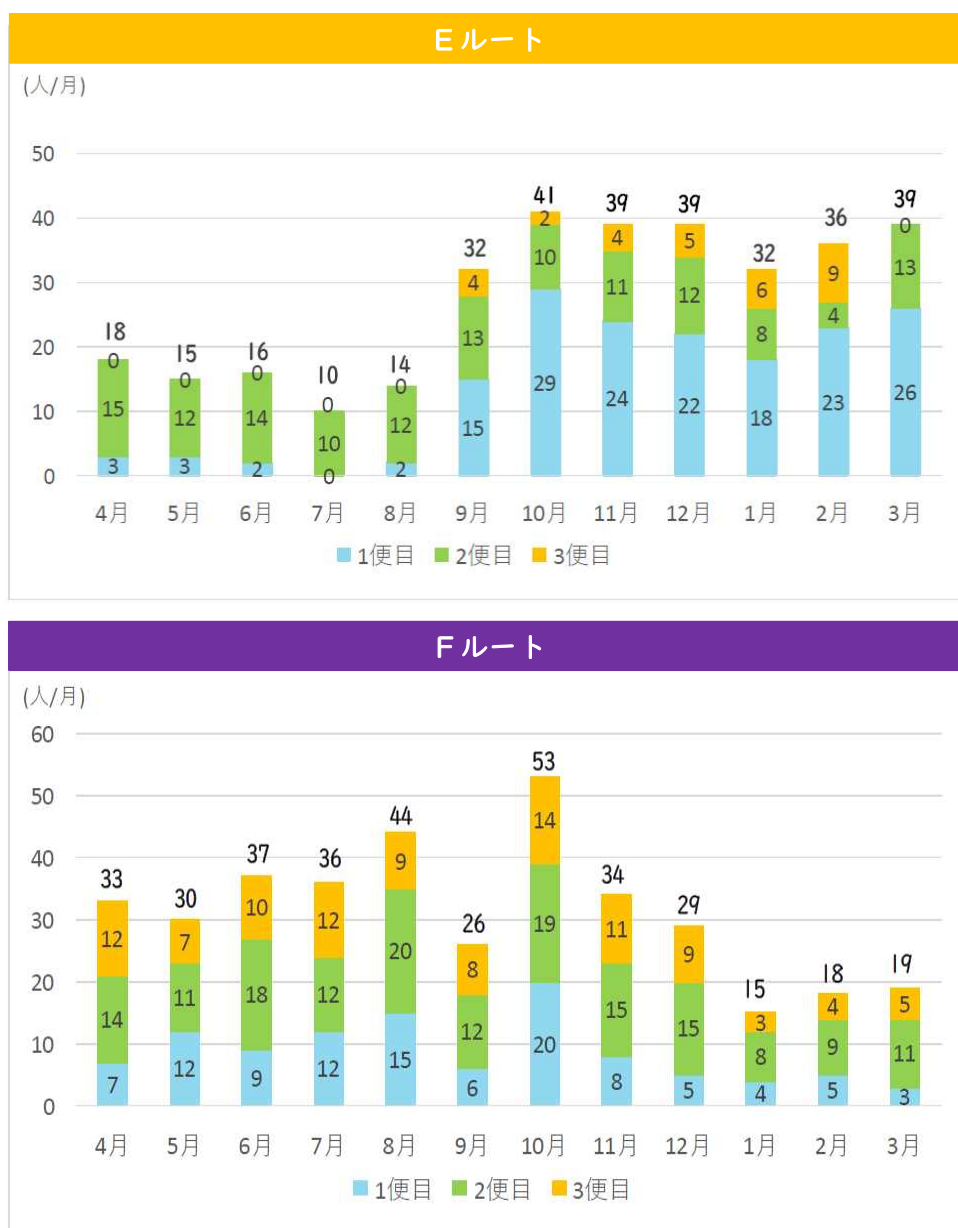


図2 月別の利用者数の推移（令和2年度）